

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	5	学 校 名	静岡聴覚特別支援学校	校 長 名	佐藤 容子
------	---	-------	------------	-------	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標「学びをつなげる学校」

自己の障害への理解を促し、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、心身の調和的発達を図るとともに**豊かな言語力を育て**、社会の一員として主体的に生きる人を育てる

<教育の柱>

○豊かな言語力 ○確かな学力 ○健やかな体 ○思いやりの心

(2) 目標具現化の柱

【安全・安心】健康で安全な生活と、安心をつなぐ学校

ア 生命の尊重と高い人権感覚による多様性と人格を認め合う集団づくり

イ 学校安全や心身の健康づくりの意識向上による自己管理能力の向上

【つなぐ学び】共生社会を生きる力につながる学びを進める学校

ウ ICTの有効活用による主体的学びの実現

エ 自分や他者との対話的学びと協働による深化した学びの実現

オ キャリア教育の視点で共生社会を生きる力につながる学びの実現

【信頼・連携】信頼関係を築きながらつながる学校

カ 教育相談及び早期支援と乳幼児教室の充実

キ 通級指導教室の指導の充実と啓発

ク 関係機関との情報共有及び相互支援の進展

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）＊「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生命の尊重と高い人権感覚による多様性と人格を認め合う集団づくり			
	一人一人の良 さや人格を認 め、多様性を尊 重する思いや りの心の醸成	○人権感覚を高めるための教職員研修と定期的な意識の共有 ・校内人権研修：年1回 ・静聴版心得、人権チェックリストの活用 ○人権全体計画に基づいた人権教育の実施と評価・改善 ・計画に基づく道徳教育、心の教育の実施	・自分の良さに気づき、互いを尊重しながら学校生活を送ることができる子 【幼児児童生徒・保護者・教職員 AB95%】	生徒指導・防災課 (各学部)
イ	学校安全や心身の健康づくりの意識向上による自己管理能力の向上			
	自分の命を守る防犯及び防災等安全教育の充実	○教職員と幼児児童生徒が主体的に行動できるための防犯・防災訓練の実施：年5回 ・聴覚障害者との情報共有等の工夫 ・事後評価を生かしたマニュアルの見直しと更新	・発災時等に、自分の命を自分で守るための行動がとれる子 【幼児児童生徒・保護者・教職員 AB95%】 ・訓練等で役割が分かり、学校安全の管理意識を高められた教職員【AB95%以上】	生徒指導・防災課 防災・危機管理委員会 事務部 (各学部)
イ	健全な心と体の成長促進及び自己管理能力の向上	○主体的に運動を楽しめる幼児児童生徒の育成 ・昼休みにおけるスポーツデイの設定：月1回第2火曜日	・運動に親しんだり、友達とのつながりを感じたりした子 【幼児児童生徒・保護者・教員 AB80%】	健康安全課 (各学部)

様式第 1 号

		○児童生徒の心身のセルフマネジメントの促進 ・心のリフレッシュ方法や体の健康法などのセルフマネジメントに関する情報共有：2カ月に1回	・様々なリフレッシュ方法や健康法を知り、実践しようと思った子 【児童生徒・保護者・教員 AB80%】	
--	--	---	---	--

【つなぐ学び】共生社会を生きる力になる学びを進める学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	I C Tの有効活用による主体的学びの実現			
	I C T活用による個別最適な学びの実現	○児童生徒の自分なりの学びにつながる I C T活用の授業実践：小中担当教員 1 回以上 ○教員の I C T活用スキル向上のための学びの環境整備 ・教員アンケートによるニーズの把握：年 1 回 ・個別テーマ研修につながる I C Tに関する資料や教育実践の教員間の情報共有：年 3 回 ・I C T支援員の有効活用：年 5 回	・I C Tを活用した学びが、「分かる」「楽しい」につながっていると感じている子 【児童生徒・保護者・教員 AB90%】	教務・情報課 I C T教育推進委員会 研修課 (各学部)
エ	自分や他者との対話的学びと協働による深化した学びの実現			
	子供が楽しく対話し協働することで、資質・能力を身に付ける学びの実現	○主体的で個別最適な教員研修の実施と研修方法の工夫 ・一人一授業研、個別テーマ研修の促進 ・学部毎外部講師招聘、縦割りグループによる協議の場の設定	・夢中で学び、新しい知識を身に付けたり思考力や表現力が高まったりすることが楽しいと答える子 【幼児児童生徒・保護者・教員 AB90%】	研修課 (各学部)
エ	自立活動の指導を通じた充実した聴覚障害教育の実現	○全教員による「自立活動ハンドブック」の内容の熟知と活用による聴覚障害教育の充実 ・学部自立研修の充実 ・「スキルちゃん」による授業場面評価の工夫 ・「自立活動の日」の設定による新任者等希望研修の実施：第 3 火曜日 ・「手話、キューサインの日」の設定：第 2、4 火曜日	・学校生活を通して豊かな言語力が身につけている子 【幼児児童生徒・保護者・教員 AB90%】 ・自分の聞こえや補聴機器の自己管理等ができる子 【幼児児童生徒・保護者・教員 AB90%】	自立活動課 (各学部)
オ	キャリア教育の視点で共生社会を生きる力につながる学びの実現			
	共生社会を生きる力につながるキャリア教育の充実	○キャリアマインド向上につなげるための取組の工夫 ・キャリアパスポートを活用した交流及び共同学習の取組の充実 ・「キャリアの手引き」の作成と保護者との情報共有 ・児童生徒の意見を反映した学校の取組、行事等の実施	・具体的に自分の成長を感じたり、将来の自分について考えたりできる子 【幼児児童生徒・保護者・教員 AB90%】 ・学校づくりに参画する経験を楽しむ子 【児童生徒・保護者・教員 AB90%】	キャリア教育推進委員会 共生社会推進委員会 教務・情報課 (各学部)

様式第 1 号

オ	ウェルビーイングの向上による教育活動活性化のための学校体制づくり	○教職員の働き方セルフマネジメント促進のための環境整備と多忙感の解消 ・時間外勤務の自己管理の徹底 ・放課後の個別業務のための時間の確保：月 2 回以上 ○SDG's の視点や教育 D X 推進等による校内の業務の効率化 ・各学部・分掌課・事務室等：1 項目以上 ○「働き方改革」促進のための共通理解 ・保護者等への発信：年 4 回以上	・教育活動にやりがいを感じ、自分らしく働いていると答える教職員 【AB90%以上】 ・教職員の「働き方改革」への取組を理解している保護者 【AB80%以上】	各分掌課 職員安全衛生委員会 主事会 事務部 (各学部)
---	----------------------------------	--	---	--

【信頼・連携】信頼関係を築きながらつながる学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
カ	教育相談及び乳幼児教室の充実			
	専門性を生かした教育相談及び乳幼児教室の充実	○ニーズに応じた教育相談の充実 ・保護者との対話を基にした助言や支援の見直し ○専門家、関係機関との連携の強化 ・県立総合病院 ST との情報交換、学習会等の実施：年 8 回 ・乳幼児教育相談マネージャーを生かした教育実践：実践記録と動画記録等の作成	・助言や支援を受けたことで相談内容が解決できたと答える相談者（AB75%以上） ・子供の成長がより楽しみになったと答える乳幼児教室保護者（AB75%以上）	地域支援部
キ	通級指導教室の指導の充実と啓発			
	在籍校とのつながりを大事にした通級指導教室の充実	○通級生が聞こえの自己理解を深めたり、主体的に環境に働きかけたりできる支援の充実 ・「きこえのトリセツ」の作成等 ・在籍校訪問での難聴理解授業の実施等	・個々に決めた目標に示した力が伸びたと答える通級児童生徒及びその保護者や在籍校担任（AB90%以上）	地域支援部
ク	関係機関との情報共有及び相互支援の進展			
	特別支援学校のセンター的機能の推進と充実及び関係機関との連携の強化	○特別支援教育コーディネーターの機能の充実 ・校内支援、学部との情報共有：年 2 回以上 ○関係者、関係機関とつながる情報発信 ・ホームページの充実、発信（乳幼児保護者学習内容発信、時期に応じた通級だより）：年 12 回以上	・校内や関係機関に支援に関係する情報を発信できたと感じる本校教員（AB90%以上） ・支援に関係する情報を得ることができたと感じる保護者や在籍校担任（AB90%以上）	地域支援部 (各学部)

（記入上の留意点）

1 (1) (2) の欄は、抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部にわかりやすいよう工夫して記載すること。